

大田・品川まちめぐりガイドの会 10年のあゆみ

2021年6月1日
大田・品川まちめぐりガイドの会
企画部



「大田・品川まちめぐりガイドの会」10年のあゆみ

目 次

ページ

1. 「ガイドの会 10 年」を振り返って	堀江信之	1
2. 「ガイドの会 10 年」に寄せて		
大田観光協会	小関みどり	3
しながわ観光協会	益子秀昭	4
3. ガイドの会発足時の経緯	堀江信之	5
4. ガイドの会 10 年の記録(年表)	上野茂	別表 1
	宗正雄	
5. ガイドの会 10 年の活動実績	宗正雄	別表 2
6. 助成金支援事業	堀江信之	7
	宗正雄	
7. ガイドの会団体で取組んできた代表的なガイド		
(1) 羽田空港国際線ターミナルガイド	堀江信之	10
	小山一成	12
	鎌田隆子	14
(2) 池上小学校ガイド学習支援	藤井政和	16
	井澤右子	
(3) 障害者団体ガイド	上野茂	19
	清崎昌枝	
(4) 旧東海道ツアーガイド	堀江信之	21
(5) 池上七福神ガイド	藤井政和	23
(6) 品川地区ガイド	任田寿子	26
8. 編集後記	山田さく	28

1. 「ガイドの会 10 年のあゆみ」を振り返って

堀江 信之

この 10 年を振り返ってみて思いつく感想を述べてみたいと思います。

感想 1 「10 年間も続くとは思わなかった」というのが実感。

2010 年 10 月 19 日 東京都から支援を受けた品川大田広域連携事業の一環として「観光まちづくりガイド養成講座」が開かれました。受講生の中にはガイド経験もあり終了後はガイドをする気で受講した方もいたようですが、私はじめ多くの方は行政が主催する一般の教養講座と軽く考え受講したように見受けられた。受講生は 27 名、修了生は 25 名。

講座終了後、突然ガイド活動をするためのガイドの会を設立するよう、講座開催者側から要請され、図らずも私が初代代表に任命されてしまいました。

会の代表としては立場上会の存続発展を目指し、大田区のガイド集団では一番手を目指して努力する覚悟でしたが、一会員としてはガイド経験など全くない素人がガイドの会を作っても、依頼者をどう探すのか、会員がボランティアでガイドをどの程度引き受けてくれるのか、見通しは立ちませんでした。講座修了者 23 名が入会しましたが、予想通り実質的な退会者が続出 2 年後には 1 期生は 15 名に減少してしまいました。

今日「ガイドの会」の活躍は、1 期生の努力もありますが、優秀で熱意のある後継会員に恵まれたお蔭と実感しております。

さらには大田・品川 両観光協会のご支援の賜物でもあります。特に大田観光協会の小関さん
に

は受講当時から今日に至るまでいろいろな局面で多くのご支援をいただきました。

心から感謝申し上げます。 今後も長くこの会が発展してゆくことを期待しております。

感想 2 大田・品川まちめぐりガイドの会の「まちめぐり」の意味。

当初ガイドの会には二つの活動目標がありました。講座のタイトルが「観光まちづくりガイド養成講座」とあるように「観光」以外に「まちづくり」の文字が挿入されております。

当時人口減少の弊害が各地で表面化するようになると多くの自治体は、都市インフラの整備重視の都市計画から住民の意向を重視した「住みやすいまちづくり」を模索するようになりました。

大田品川両区では、羽田空港に国際線の定期路線が再航されるのを機に、観光産業の隆盛を

見越し、観光という視点からまちづくりを見直そうという動きがありました。

この講座はそのような期待が込められた講座であったような気がします。

ただし翌年からは東京都からの支援もなくなり、ガイド養成講座は大田区単独の開催となり、講座名は「OTA 観光ボランティアガイド養成講座」に変わりました。

「大田・品川まちめぐりガイドの会」は大田区の会員数が多いため品川より前へ、「まちめぐり」には「まちづくり」の意味も多少込めて名付けられました。

感想3 「良い意味でプロ化している」と思います。

1期の受講生の多くはガイド経験のない人たちでした。しかし当初「わたくし大勢の人の前で話をしたことなどありません」と尻込みしていた人も、モニターガイド(ガイド実習兼卒業テスト)やイベントでの呼込み等を重ねるうちに覚悟も出来、自信もついたようでした。

今では「われわれはプロではない、ボランティアガイドに徹すべき」という声は全く聞かれなくなりました。10年の歳月は人も会も変えます。無名の素人のガイド集団だったこの会もある程度知られるようになりました。またプロの旅行代理店相手にこまごまとした交渉を重ねてガイド企画を立案し、実践できる頼もしい会員も現れるようになりました。

私見ですが、旅行代理店を通さず学校から直接ガイドの会に依頼してくる、授業支援やまち学習等は、ボランティアでもよいのではないかと考えています。

順風満帆に育ってきた「大田・品川まちめぐりガイドの会」ですが、コロナ禍で状況が大きく変化しました。国際線ターミナルの活況がいつ戻るかも心配ですし、会員の高齢化という難問も加わり、慎重な舵取りが必要です。一方ピンチはチャンスでもあります。コロナ禍を飛躍の機会と捉え、今後大いに発展することを期待しております。

2. 大田・品川まちめぐりガイドの会 10周年によせて

一般社団法人大田観光協会
ガイド担当 小関みどり

祝 10周年おめでとうございます。ガイド養成講座の修了生の有志の方々とガイドの会を作ろう！ということになり「大田・品川まちめぐりガイドの会」が発足されたあの日のことは、今でも鮮明に覚えています。あっという間に10年が経ちましたが、ふりかえてみると、ガイドの会のみなさんとの協働のおかげで、羽田空港再国際化事業に端を発した羽田空港定期ガイドツアーの実施や、2012年蒲田が舞台のNHK朝の連続テレビ小説「梅ちゃん先生」のまちあるきイベント、おおたオープンファクトリー、池上七福神めぐり、旧東海道ツアー、東急電鉄、東京モルルールなどのまちあるきイベントなどなど、本当に多岐にわたりいろいろご一緒して頂きました。大田区の観光まちづくりの担い手としてご活躍下さいましたことに、改めまして感謝の気持ちでいっぱいです。

個人的なメッセージとなりますが、ガイドのみなさんとはホントたくさんの思い出があります。その中で、印象に残っているのは、何と言っても活動されているみなさんの「笑顔」と「イキイキしている」お姿です。特に、区内のイベント等で大田観光協会として「大田区観光情報コーナー」を出店し地図配布や案内を行なう活動では、炎天下の中でも、極寒の中だったりしても来訪された方々に大田区の地域のことを楽しそうに笑顔でお話下さる姿はホントすごいな～と感心するばかり…。またガイドのみなさんは、個性あふれるメンバー揃い…。普段は和気あいあいとしているのですが、いざとなると「結束力」を高めながら、互いを尊重しあって、多様なリクエストにもできるだけ応えていこうという姿勢に感銘を受けます。今までこのガイドの会で成し遂げてこられたことに改めて拍手を送らせていただきたいです。ぜひまた個々に思い出話に花を咲かせましょう。そして夢ある未来についても語り合えたらと思います。これからも「大田・品川まちめぐりガイドの会」の活動が益々発展していけますことを心より願っております。10周年おめでとうございます。

発足10周年おめでとうございます

一般社団法人 しながわ観光協会
事務局次長 益子秀昭

大田・品川まちめぐりガイドの会の皆様、発足10年、誠におめでとうございます。

思えば、品川区、大田区の観光事業の歩みは、正に皆様と共にあったといえるでしょう。

平成22年度から始まった、品川区と大田区の連携事業で、皆様のガイドの会が誕生したわけですが、発足当時の皆様の熱心な取り組みには、私自身も大いに刺激を受けました。皆様がまち歩き事業などで発揮する、サービス精神旺盛な対応を間近にうかがうことにより、観光事業の基本をお教えいただきました。

これからもガイドの会の増々のご活躍をご祈念いたしますと共に、私自身も皆様と一緒に成長させていただければと願っております。

3. ガイドの会発足経緯

堀江信之

・会の設立と会長選出について

2011年5月、各グループのモニターガイドが順次行われている最中講座修了生が集められ、ガイドの会設立と各人の加入意志表明、会の名称、会長・役員選出等を決めるための準備会が開かれた。まず準備会の進行役を講座の講師兼運営役を務めていた小野紀之氏が、突然私を指名した。このような準備会で議事進行役を務めることは会長に選任される恐れが多分にあるが、小野氏は当時私が属していた二つの環境団体の指導役・先輩格でこれを拒むことは出来なかった。案の定、議事も進み会長選出では、互選という形はとったが、成り行きで私が会長に選任されてしまった。誠に非民主的な方法で初代会長が選出されたと思う。

観光ガイドとは無縁の私が会長として出来ることは指導者としてのリーダーではなく、会員の世話役に徹することだと決め、名称も会長ではなく世話役代表にして貫った。努めたことは楽しく皆が集まれる会にすることを目標にした。ボランティア団体は、居心地がよくないと瓦解すると考えたからである。

・ガイドの会の活動対象

ガイドの会を設立するとやることは自然と見えてきた。まずは大田・しながわ 両観光協会が企画する各種観光イベントの実施またはサポートをする。両観光協会へ問い合わせがあったガイド依頼は我々が引き受けるようにする。さらに観光協会発行のパンフレットで紹介する観光コースはガイド出来るようにする。また学校・(原発)避難者へのボランティアガイド、自主企画ガイドの実践、着地型観光の視点に立った観光資源開発、勉強会開催、等々活動分野やすべきことは数多くある。

翌平成24年、NHKの朝の連続TVドラマは、蒲田が舞台になるとの情報もあり、会の増員を図るため、ガイド養成講座の開催を小関さんを通し観光協会へ要請した。この件は朝ドラを契機に大田区の観光を盛り上げようとしていた、区の思惑とも合致したようすんなりと実現した。

23.24年度に実施した事業の一覧表を見ても、観光協会以外からの受託や、定期ガイドの開始、リピートオーダーも混じり、駆け出しの素人ガイド集団にしては頑張ったなと思える実績を残した…、と思う。これも1期生、2期生の協力と、観光協会の支援があったお蔭である。

・活動費の捻出

問題は活動資金である。会員に過大な負担はかけたくはなかったが、会議や勉強会の会場費、連絡費、印刷費等で年 3000 円の会費は必要であるし、ユニフォームや小旗、マイク、イヤホン等のガイド用備品費も欲しい。

こんな時大田区の「観光まちづくり助成金」公募のパンフレットを見つけた。「あなたの手で大田区の観光を盛り上げてみませんか」とのキャチフレーズで、助成対象事業には、「来訪者が区内を気持ちよく周遊できるしかけづくり」という項目もある。しかも「助成金額は 1 事業当たり 100 万円」。前後の見境なくこれに飛びつくことにした。一応副代表の上野さんには相談したが応募期間も短いことから、間に合わせ的な企画を作り応募した。応募 4 団体の公開プレゼンという審査があったが、「大森まちづくりカフェ」以外の企画は我々と同レベル、いや以下の企画もあった。複数団体への交付があれば認可の可能性もあるかと期待したが結果は 1 団体のみで惨敗。上野さんにはご迷惑をお掛けした。助成金の実態はジャンプアップ助成の特別枠で、誕生間もない団体が挑戦すること自体が無謀だったのである。翌 24 年「スタートアップ助成」の交付申請をし、助成を受けた。(詳細は別紙)

会費以外の収入は観光協会のイベントへの参加費という名目で支援金を頂いた。

・初めての「ガイドの会」全員参加のイベント

国際線ターミナルの定期ガイドが軌道に乗りターミナル内のガイドが出来る会員が増えた頃の、平成 24 年 10 月しながわ観光協会から「国際線ターミナルと品川沖花火を見る会」と銘打った企画で、約 250~300 名を国際線ターミナルのガイドしてくれないかというオファーがあった。

応募者の受付や割り振り、クルーズ船でのガイド・乗降等は品川観光協会の担当で、我々はターミナルのガイドだけを担当するという条件であった。これは全会員の協力がなければ受けられない依頼であったが、しながわ観光協会も応援人数を出すとのことで受けることにした。

まず TIAT の日暮氏にターミナル内を大人数が移動する許可を得てから、集合場所の選定やグループ名を書いたボードや小旗等の準備を行い万全を期した。。

当時ガイドの会の会員は 26 名だったと思う。ただしこのイベントに何名が参加し、何グループを編成してガイドしたのか記録がない。(当時の議事録には「大多数の人がお手伝いした」とあるのみ)。当日どうしても参加出来ない会員が若干名いたので、品川観光協会の応援を含めても最大 15 グループ位で実施したと思う。

当日のガイド対象者は 275 名だったが、ガイドの会、しながわ観光協会の協力でトラブルもなく終わることが出来た。ガイド終了後、しながわ観光協会の好意で我々もクルーズ船での花火を楽しむことが出来たが、何よりも嬉しかったのは、いざとなればガイドの会の仲間達は、全員が一致協力してプロジェクトを遂行して呉れるという信頼が確認できたことだった。

※この稿、記録に乏しく私の記憶に頼りました。訂正箇所がありましたらご教示願います。

7. 助成金支援事業について

堀江信之
宗 正雄

大田区の助成金の支援を受けて実施した事業は、以下の通り 3 件あります。

1. 大田区地域力応援基金助成事業スタートアップ助成
2. 大田区地域力応援基金助成事業ジャンプアップ助成
3. 観光まちづくり推進支援事業補助金助成

以下にそれぞれの詳細を記します。

1. 大田区地域力応援基金助成事業スタートアップ助成

平成 24 年実施の助成事業で、平成 24 年 4 月 18 日に、事業名「東京空港国際線旅客ターミナルガイドを行い、大田区内への観光を誘致する事業」として申請し、申請額 47 万円が 6 月 29 日正式に承認されました。

詳細内容は別紙—1「実績報告書」を参照ください。

2. 大田区地域力応援基金助成事業ジャンプアップ助成

(1) 申請及び承認経緯

平成 27 年実施の助成事業で、大田区から「“ちょこっと“おもてなし・まち歩きツアー」というテーマが提供され、ターゲットはメインが「訪日外国人」及び「羽田で国内便乗り継ぎをする日本人観光客」サブは「在住外国人を含む区民」で所要時間 2 時間程度という条件が付されました。

これに対し当会としては役員並びに各チームリーダーを中心に検討委員会を編成し、与えられたテーマ、条件に沿って検討し、各月に開催する定例会でメンバー全員のコンセンサスを得て推進し、事業計画案を作成、平成 26 年 7 月 18 日付にて申請しました。

第一次審査(書類)、第二次審査(公開プレゼンテーション)をパスし、平成 26 年 12 月 1 日付で 117 万円の助成金交付事業として内定、平成 27 年 4 月 1 日付で正式に承認されました。

実施期間：平成 27 年 6 月～平成 28 年 3 月。

事業名：大田の観光の魅力発信、国際交流おもてなし観光まちづくり

タイトル：大田区流“ちょこっと”おもてなし・まち歩きツアー

目的・趣旨：訪日外国人、羽田で国内便乗り継ぎをする日本人観光客、在住外国人を含む区民をターゲットに“ちょこっと”おもてなしの「まち歩きツアー」を企画、実施し大田区の観光の魅力を広く内外にPRし、「観光まちづくり」の一助とする。

(2)申請内容

平成27年7月～平成28年3月の間に6コースの「“ちょこっと”まち歩きツアー」を実施する。

1. 羽田国際空港見学と日本文化体験—1
2. 洗足池の秋祭り
3. 羽田散歩と日本文化体験
4. オープンファクトリー町工場見学・体験
5. 羽田国際空港見学と日本文化体験—2
6. 池上本門寺散策と梅園で茶道体験

予算1,260,000円、内1,170,000円を助成金として申請しました。

差額の9万円は町めぐりガイドの会の負担。

(3)実施内容

平成28年4月4日付で大田区に実施報告書を提出、
詳細は別紙—2「実績報告書」を参照ください。

会長であった私が総取り纏め役を、副会長であった堀江さん、古海さん、が補佐としてお手伝いいただき、基本構想を構築し、各チーム(空港チーム、チーム羽田、洗足池チーム、下丸子・矢口チーム、池上チーム)のご意見を聞きながら、コースを設定しました。コース内容の詳細については、各チームのリーダー、サブリーダーを中心に、各チームにお任せし、それぞれの自主性を尊重したつもりです。また、当日のガイドについても、リーダー、サブリーダーを中心に各チームメンバーに責任もって実施していただきました。羽田空港コースについては、空港の窓口であった大田観光協会のご尽力によりTIAT(羽田国際空港ターミナルビルディング)の絶大なご協力も得られました。

一番苦勞したのは、大勢の外国人をどうやって集客するかということでした。

募集の PR チラシを集客できそうな箇所に配布することはもちろんのこと、大田区国際都市部観光課にご協力いただき外国人団体への PR、在住外国人の大田区観光大使にお願いしたり、大田区にある外国人学校を紹介いただき直接お願いに上がったり、広報チームの皆さんが外国人の宿泊する施設に伺って PR、集客につとめました。

その結果、実績報告書記載の通り、募集人員を上回る集客にこぎつけました。

まさにメンバー全員の参加による一大イベントとなりました。

アンケートの結果に見られるように、大変好評を博しました。これも、まちめぐりガイドの会全会員の一致団結した協力の賜物です。自分たちも楽しく実施することができた一大イベントでした。まちめぐりガイドの会のエネルギーとパワーに驚嘆いたしました。また、大勢のガイドに必要な「イヤホン」30 台を購入することができ、以後今日まで大いに役立っています。

3. 観光まちづくり推進支援事業補助金助成

大田区観光・国際都市部の助成金支援事業で、総経費の 1/2(上限 4 万円)の額を助成する事業。

(1) 申請内容

事業名：(1)羽田国際線ターミナル見学ガイド、

(2)大田・品川まちめぐりガイドの会パンフレット作成

補助金申請額：40,000 円(事業対象経費：81,962 円)

平成 26 年 10 月 17 日付で申請し、10 月 24 日補助金 4 万円交付決定、

平成 27 年 3 月 31 日 4 万円の補助金が確定しました。

(2) 実施内容

(2)-1 平成 26 年 10 月 25 日、11 月 29 日、12 月 27 日、平成 27 年 1 月 31 日、2 月 28 日、3 月 28 日、午前 11：～12：00、午後 14：00～15：00 の計 12 回、羽田空港国際線ターミナル見学ツアーをガイドし、チラシ 2,000 部作成する費用の半分に充てることができました。

(2)-2 大田・品川まちめぐりガイドの会パンフレットを 3,000 部印刷する費用の半分に充てることができました。

8. ガイドの会全体で取組んできた代表的ガイド

(1) 羽田空港国際線ターミナルガイド

羽田空港国際線ターミナルガイドの開始について

堀江 信之

ガイドの会がスタートして4ヵ月、新しくできた羽田国際線ターミナルのガイドをすべきと熱心に唱える横沢さんがいた。観光協会の小関さんもこの意見に賛同し TIAT(東京国際空港ターミナル株式会社)の営業部マネジャー日暮孝之氏と面談し、ガイドの会を売り込んでくれた。タイミングよくターミナルビル開業1周年記念イベントの一つに「新しいターミナルビルを案内するボランティアガイド」を加えてくれた。早速有志を募り日暮氏との打合せ会を開き先方の要望や条件を聞きき出した。また日暮氏と一緒にターミナル内を案内してもらい、自分がガイドされる身になった時何が知りたいか、反対に TIAT 側からは何を知ってもらいたいかなどを話し合った。この結果、特別濾過した美味しい水の供給や、介助犬のトイレ、身障者および環境に配慮した各種のサインや数々の施設等、「人と自然にやさしい」ターミナルであると紹介され、ガイドネタに活かすことにした。

実施日は平成23年(2011年)10月22・23の二日間。当日ガイドの会の会員は観光協会の青いジャンパーを羽織り、開業イベントに集まってきた見物客にボランティアでターミナルガイドをしていることを告げて勧誘した。ガイドの会の力量を認知してもらうため、二日間でガイド客100名を目標に頑張り、首尾よく目標を達成した。

ガイド協力者は、10月22日 横沢、二村、上野、青木、任田 10月23日 在間、下村、岡田、堀江。次に、ターミナルガイドを単なるTIAT側の1イベントで終わらせたくはなかった。大田観光協会の協力を得て、これを機会に定期ガイドの要請を行い、翌平成24年4月から月1回の定期ガイドを実施する許可を得ることが出来た。

定期ガイドが軌道に乗ってきた頃、今後のガイド継続についての会合を設ける話が持ち上がり、小関さん、上野さん、横沢さん私の4人で出席した。相手は営業部次長の小山さんと日暮さんと思っていたが、会議室に通され TIAT 側の出席者を見ると、総務部長、企画部長、施設部長、に営業部次長、と担当の日暮氏が臨席していた。驚くとともに我々の活動が認められ何らかの好条件が提示されると過剰な期待を抱いてしまった。ターミナルガイドが好評裡に実施されていること、ガイドの会が TIAT の広報活動の一翼を担っていること、等を力を込めて報告した。今後どのように続けてゆくかが検討課題になった時、「ガイドの会」は法人格のないボランティア団体であること、設立2年に満たない団体であることなどが確認されると、この問題に対する TIAT 役員側の熱意

は冷めてしまったように見受けられ、私の夢は儚く消え現実に戻った。

新しいターミナルビルの運営管理を業とする民間会社 TIAT にとって、広報活動は重要な関心事であるはず。ガイドの会は微力ではあるがその一翼を約十年担ってきたとひそかに自負している。

～地元ボランティアガイドと一緒に空港散歩しましょう～

文責 横澤 晃作

羽田空港国際線ターミナル、最初のガイド

開催日時

2011年10月22日(土) ○横澤、二村、上野、青木、任田

午前 第一回目 午前10時30分～11時 第二回目 午前11時30分～12時

午後 第一回目 午後2時～2時30分 第二回目 午後3時～3時30分

10月23日(日) ○堀江、在間、下村、岡田

午前 第一回目 午前10時30分～11時 第二回目 午前11時30分～12時

午後 第一回目 午後2時～2時30分 第二回目 午後3時～3時30分

対象人数 30人(混雑時は2班に分ける) **所要時間** 30分

受付方法 当日会場にて整理券を配布(実施時刻の30分前より)

ガイド集合 午前9時(2階到着ロビー、観光情報センター)

主な案内コース(参考)

集合・出発 2階観光情報センター→イヤホン貸し出し

国際線、国内線乗り継ぎカウンター

バス、JR発券、ホテル予約、レンタカー等の受付カウンター、外貨両替ショップ

3階(出発ロビー)ここから、世界の主要14都市への旅が始まる。

大屋根(すじ雲をイメージした迫力ある空間)

インフォメーションカウンター、空港会社カウンター

4階(日本の粋を発信する「江戸小路」)

江戸小路、江戸前横丁、江戸舞台、(江戸の街並みを再現)

このエリアを散策するだけで、古き良き日本の伝統や文化が体感できる

ように配慮してある。

5階 展望フロアー(ワクワク、ドキドキワンダーランド)

Cool Zone (サイエンスストーリーやプラネタリウム、カフェなど知的好奇心を刺激するショップが並ぶ)

Hot Zone (人気のアニメキャラクターをはじめ、タレントグッズやおもちゃなどのショップが集まる)

展望デッキ (世界の空へ飛翔する航空機、東京の大パノラマを堪能して、見果てぬ夢を見てみよう！)

1階(国内線乗り継ぎ連絡バスで日本観光へ出発) ウェルカムジャパン

ゴール(2階到着ロビー) 観光情報センター イヤホーン回収、お土産配布

※ 揃った材料を料理し、味付けして、お客さまに美味しく食べていただき、満足感を持ってもらうのは地元ガイドの腕次第。それは貴方です！

羽田空港国際線ターミナルの記録

小山一成

① 空港ガイドは、毎月1回の無料定期ガイドと受託ガイドがある。定期ガイドは、年間を通して参加の会員が偶数・奇数月リーダーのもと8人が午前と午後1回の案内をする。受託ガイドは、その都度希望者を募り行う。ていねいな研修を受け、日々研鑽しているガイドによる案内は、新しい情報も共有する努力をしている。研修でJALやANAの整備工場・羽田空港の関連施設見学もした。ガイドは、乗り物が趣味な人、海外経験もあり語学が堪能な人もいて個性豊かな方が沢山いる。

② 見学場所

1階： エントランスプラザ コンビニストア、東邦医科大学の診療室、介助犬トイレ等がある。

2階： 到着ロビー インホメーション、大田区観光案内所、有料シャワー室

3階： 出国ロビー、税関展示室 航空会社のカウンター 2室になった祈祷室
海外に行く人には、貴重な郵便ポスト。ロイヤルパークホテル東京羽田

4階： 商業施設(飲食店、土産物店・銀行など) 羽田日本橋 イベントホール、

通路の壁には、航空機のミニチュア展示、模擬操縦できる機械、

5階：商業施設（飲食店、土産物店）プラネタリウム 展望デッキ お祭り広場
季節の変化に対応した空港の飾りも見事である。武者飾りや江戸の文化を意識した建築物。空港設備のデザインコンセプト（エコデザイン、ユニバーサルデザイン）に留意した説明が感動される。

③ 定期ガイドのアンケート分析と受託ガイド

参加者の定員は、午前、午後各回30名、満員40名として参加者を受け付けており、1日平均80名くらい。多い月は100名を超えたこともある。参加者の参加条件は、特になし。ベビーカーや車いすでの参加もOK。昨年約1,000人の参加があり、男女はほぼ同数、大田区以外の他の県からの参加者も多い。関東近県、特に川崎・横浜の方、少数だが北海道から九州・沖縄、四国からの方もいて全国から羽田に来る。年代は昨年では10歳以下が162名、70歳以上が81名と年齢は広い範囲である。

定期ガイドには、お土産として東京国際空港ターミナル株式会社（THAT）より支給される参加者用プレゼントがつく。

参加者の反応は、アンケート結果では9割の参加者が大変満足されている。

リピート参加者も多いので、ツアーを継続することが重要と考える。

アンケートより多機能トイレや祈祷室等、普段余りが付かない所を知れて良かった。（複数）
空港施設の他に江戸文化を勉強することが出来た。

ツアー出発前に空港の「見取り図」をもらえると今何処にいるか分かり易い、と思う。

- ・子供への気遣いをいただき、ガイドの方に感謝します。
- ・第一ターミナル、第二ターミナルでも同じような（空港神社の由来等）説明ツアーをしてほしい。（70代男性）
- ・飛行機の模型の話や管制塔の話が特に印象に残った。（30代女性）

地下熱を有効利用する等、エコシステムを知ることが出来た。（〃複数）

午後のツアーで、月刊誌「おとなりさん」の同行取材を受けました。

知らなかった事を知ることができた。空港設備、コインチェンジ機他。（50代女性）

シールをもらえたり、スタンプを押せた。（男の子）

- ・日本橋の屏風画に興味を持った。

受託ガイドは、集客用のチラシを大田観光協会、しながわ観光協会、京急蒲田と羽田空港の観光情報センター等に置いていただいている。ガイドの会のホームページ、空港のホームページ、観光協会のホームページを見て参加する人もいる。

10 数社の旅行業者を介して見学に来る方も年々増加している。見学者には、公民館のツアー、役所の土木部のOB、退職校長会、企業の顧客サービス、小学校から大学、専門学校まで多くの児童・生徒が来た。小山市の小学校は、観光バスで2年続けて修学旅行で羽田に来た。200人以上の高校生がきた時は、ガイド20人で対応した。大田区視力障害者福祉協会も見学。視覚障害者のグループについては特に気配りして、ていねいに案内している。

昔遊びコーナーについて

鎌田 隆子

「昔遊びコーナー」とは、折り紙・お手玉・けん玉・糸電話・あやとり等を空港利用のお客様、空港に遊びに来られたお客様にお声をかけて一緒に折り紙を折ったり、お手玉・けん玉で遊んだり、糸電話で話したりと、お客様が一体となりあそんでたのしむコーナーです。

「羽田空港国際線ターミナルビル定期見学ツアー」の日に開催しています。

なぜ、「昔遊びコーナー」を開催することになったかと言うと、前年(2015年)に大田区から承認された「ジャンプアップ助成金事業」の一環でチーム羽田が「羽田散歩と日本文化体験」を開催いたしました。この時は折り紙で「花の小箱」を皆様に作っていただきました。折り紙が大好評でしたので、なにかこれではできないかと考えていました。

それで、当時の国際線の担当者の中嶋さんに相談して何度か試しに受付ブースの隣のブースで昔遊び(折り紙)を開催して、前を通るお客様にお声がけして折り紙を教えながら、一緒に折りました。また、外国のお客様も一緒に折りました。言葉が分からなくても手先を見てもらいながら完成させ楽しんでいただきました。

お試し期間中、結構な人数の方が「昔遊びコーナー」にお立ち寄りくださいました。

確かな手ごたえを感じて、当時の役員会・会計の了解を得てメンバーの募集を致しました。

そして、最強のメンバーが集まりました。

青木さん・清崎さん・中野さん(退会)・横田さん・渡辺さん・林さん(2019年より参加)・

鎌田 で、いよいよ、2016年11月より本格的に活動を始めました。

二人一組で毎月担当をして、お客様に喜ばれ、時にはお客様に教えていただいたりと、お客様とメンバーが互いに楽しむコーナーになりました。

最初はだれもが知っている鶴から始めました。たしか、オバマさんが広島に、ご自分で折った鶴をお持ちになり話題になりました。

そして、メンバーには正しい鶴の折り方をマスターしていただき、鶴⇒パタパタ鶴(これは評判が良く、常に皆様が折りたがります)⇒連鶴(一枚の紙から切り込みの入れ方で何羽でも鶴がおれます)と、メンバーは腕を上げていきました。

また、鶴の他にコマ・季節の花・糸電話とメンバーが勉強してきて他のメンバーに教えて、それをお客様に教えるということを毎月やってきました。

「昔遊びコーナー」は、本当にメンバーに恵まれています。

皆さん、勉強熱心なこと、また、予算がないのではと考えて、自前で折り紙・材料を持ってきてくれます。お蔭様で、会のお金をあまり使いませんでした。

そして、何よりも得難いことはメンバーの誰もがお客様と一緒に楽しむことを心より堪能していると言うことです。

2016・11 に始まり、2020・1・25 でコロナ禍の中で活動が止まっています。約 3 年間の実績を基にこの状況が好転すれば、夏休みに「親子で遊ぼう昔遊び(折り紙教室)」(仮称)を考えています。

開催できればと考えていますが、いつになることやらですね。

「大田・品川まぢめぐりガイドの会」の 10 周年を迎えるに当たって、この小さな「昔遊びコーナー」のことを少しお話しさせていただきました。

(2) 池上小学校ガイド学習支援

藤井政和
井澤右子

社会科授業ガイド

◎池上小学校支援(コンダクター教育)について

【イベントが始まった経緯】

2013年に池上チームが発足し、5月に「池上・寺マチックツアー」2013年11月に「徳川の夫人たち」を、自主企画として行った。

その「徳川の夫人たち」のツアーに、池上小学校校長・嶋田先生がご参加くださり、井澤に葉書(いずれお願いしたいことがある由)をくださった。2014年3月末に嶋田校長から連絡があり、「2014年4月1日(火)13:00より本校の先生約40名をガイドしてほしい。」との事でした(恒例の人事異動で先生方が池上小に来、去っていくが、本門寺を訪ねたことがない先生方が多いことに驚いている。)直近の事でもあり、午後は役員会が予定されていましたので、ガイドが集まらずお断りすべきであろうと会長から進言を受けて悩みました。

池上チームリーダーの野崎さんに相談すると、「意義があるボランティア活動だから、二人だけでもやろう」と、仰って頂き、初めて個人用拡声器を買って、「池上小学校教師に向けた池上本門寺ガイド」を二人で行いました。

帰りがけに、6年担任の山本先生から呼び止められ、「今日のツアーを児童たちにしていただく事は可能ですか?」と聞かれ、名刺をお渡し致しました。ここから続く、池上小学校ガイド支援は、嶋田校長・尾上副校長・山本先生の御三方の想いから始まりました。

打ち合わせの折、出身地の歴史を話せる人になって欲しいので、ガイドを聞いた後、児童達に池上の歴史を勉強させて卒業式の後で感謝を込めて父兄たちに向けてガイドさせたいと、うかがいました。

2014年11月26日(水)の第1回「池上歴史コンダクター」は、池上小学校正門内ピロティに66名が2組8班に分かれて催行されました。池上本門寺のご協力もあり、松濤園内の入場も許可されて楽しい機会を持つことが出来ました。

池上小学校6年生ガイド支援第1回

- ・日時:2014年11月26日(水)10:30~12:10
- ・タイトル:池上歴史博士になろう!

「池上ツアーコンダクター～池上の歴史を紹介しよう」

- ・ 対象：池上小学校6年生徒66名+教員2名
- ・ 学校側の目的：「池上の史跡について案内をしてもらい、池上の歴史について学び、興味を持つ」

「ガイドの仕方(相手に伝えるために話し方や話の内容)について知る」

- ・ 担当教諭：河内先生・山本先生(嶋田校長・尾上副校長)
- ・ ガイドチーム

① 野崎(リーダー)・杉山・堀江・尾崎

② 井澤(リーダー)・竹内・山田・宗

リーダーはガイドの仕方をレクチャー

【その後の活動】

その後、第1回を担当された山本先生からの同様の趣旨の依頼で2016年度と2017年度に「ツアーコンダクター学習支援」活動を実施した。

・2016年度の活動実績

2016年5月20日(金) 宗さん(会長)、井澤さん、藤井(チームリーダー)と池上小との打ち合わせ

2016年6月23日(木) 池上小学校生徒90名をガイド(ガイド方法を指導)

2017年1月16日(月) 生徒のコンダクターツアーリハーサルの立会

2017年1月22日(日) コンダクターツアーの支援(9名)

・2017年度実績

2017年12月7日(木) 生徒91名をガイド(ガイドの仕方を指導)13名+写真2名・・・下記資料

2018年1月21日(日) コンダクターツアーの支援(11名)

池上小学校ツアーコンダクター学習支援

1. 実施日時：12月7日(木) 13:30～15:05(ガイド集合時刻13:10)@正門内ピロティ
2. ガイドメンバー (A班) A-1 宗 (B班) B-1 古海 (C班) C-1 井澤
A-2 鎌田 B-2 尾崎 C-2 大石
A-3 任田 B-3 杉山 C-3 佐藤渉
A-4 桜井、菱沼 B-4 堀江、藤井
写真：上野 写真：安岡
[A班、B班は本門寺コース] [C班は万両塚コース]

3. スケジュール

項目	A班	B班	C班	項目
全体挨拶	13:30～13:35			全体挨拶
ガイド心得	—	13:35～13:40	—	ガイド心得
小学校出発	13:35	13:40	13:35	小学校出発
総門	13:37～13:42	13:42～13:47	13:42～13:47	平間街道道標 (相模屋)
理境院	13:43～13:48	13:48～13:53	13:45～13:50	萬屋酒店
此経難持坂	13:48～13:53	13:53～13:58	13:50～13:55	題目宝塔 霊山橋
仁王門	13:58～14:03	14:03～14:08	13:55～14:00	総門
五重塔	14:05～14:10	14:10～14:15	14:03～14:05	照栄院(南谷檀林)
経蔵	14:10～14:15	14:15～14:20	14:11～14:16	妙見堂
大堂	14:15～14:20	14:20～14:25	14:13～14:18	万両塚 弥生遺跡
多宝塔	14:25～14:30	14:30～14:35	14:25～14:25	五重塔
ガイド心得	14:30～14:35	—	14:30～14:35	ガイド心得
松濤園	14:40～15:00 解散:15:00			松濤園

(3) 障害者団体ガイド

上野 茂

1. 初めての身障者団体ガイド

実施日：2013年6月16日

団体名：神奈川盲聾者ゆりの会

ガイド場所：羽田空港国際線ターミナル

依頼の経緯：大田観光協会⇒堀江窓口⇒上の窓口(畠山 サポート)

ガイド実施日までの経緯

畠山氏の助言をいただき、身障者の年齢構成、障害程度、注意点等をメールで確認

4月22日、盲聾者 3名、通訳兼付添 3名 で下見を実施

ガイド当日

参加者：盲聾児 4名、盲聾者 7名、聴覚障害者 7名、手話通訳者 2名、
通訳介護者 22名、家族 4名、健常者 3名、 合計 51名。

ガイド：任田、畠山、山田、倉西、鎌田、青木、船木、井澤、計良、
上野、 サポート 大澤

後記：

普段のガイドとは違い、ガイドの翌日からガイドをした人たちの間で障害者の人たちから教えていただいたこと、学んだこと、今後留意点等のメールが暫く飛び交いました。

また、後日「神奈川盲聾者 ゆりの会」川島会長と参加された盲聾者2名と聴覚障害者2名からお礼のメールをいただきました。

2. 多人数障害者団体のガイド

実施日：2015年3月18日

団体名：大田区身体障害者連盟

ガイド場所：池上本門寺、羽田空港国際線ターミナル

依頼の経緯：大田観光協会⇒畠山氏⇒上野窓口(宗氏 サポート)

ガイド当日

参加者：肢体障害者 29名(内車椅子 9名)、視覚障害者 37名、

介助者 27 名、 合計 93 名

ガイド：池上本門寺

青木、畠山、竹内、尾崎、宗、井澤、杉山、桜井、佐藤、堀江、
船木、野崎、任田、山田、鎌田、古海、計良、伴野、芝崎、
菱沼、安岡、

羽田空港国際線ターミナル

大石、青木、塩盛、尾崎、井澤、伴野、桜井、杉山、上垣、
堀江、中條、菱沼、畠山、野崎、任田、倉西、鎌田、小山、
芝崎、古海、船木、安岡、宗、上野、

ツアーの組分：10 班

ツアー時間割： 9 時 45 分～11 時 5 分 池上本門寺ガイド

11 時 20 分～12 時 30 分 懇親会

12 時 45 分～13 時 20 分 バスで移動

13 時 30 分～15 時 30 分 羽田空港国際線ターミナルガイド

15 時 30 分 羽田空港国際線ターミナル出発

後 記：

大身連向けのガイド以降、障害者団体等より年 2～3 回の障害者向け ガイドの
依頼が来るようになった。

心に残ったご案内

清 崎 昌 枝

数々のガイドの中で健常者の方をガイドするのは通常ですが、視覚障がい者のグループ
をガイドした時のことです。

ガイドの心がけとして視覚障がい者は聴覚、触覚、臭覚が敏感です。

相手に向かって説明する。方向の説明は時計の地盤に沿って案内する。

触っていただける物には触って感じて頂く。足元注意は当然のこと。

植物の匂いあるヨモギや木の実や枝つきの植物を持ち寄り工夫しました。 また 誘導
ブロックの事も学び視覚障がい者の方には笑顔で案内しました。

笑顔は伝わるものです。

池上本門寺の仁王門の前から富士山が見えた時です。スマートフォンで富士山を撮って欲しいと依頼され、驚きました。上手にスマートフォンのカメラのアプリを開くのです。富士山とオオムラサキツツジを撮影出来たところ、大変喜ぶ様子が今でも思い出されます。

案内する人達も皆で工夫し視覚障がい者に如何に伝わるか、それぞれ考え案内した所、盲導犬と一緒にグループも心温まる案内が出来、私たちも大変勉強になりました。

多摩川駅から田園調布駅と池上本門寺界限の時にも天気に恵まれ、お互い笑顔で楽しい気持ちで散策出来た良い思い出です。

(4) 旧東海道ウォーキングガイド

堀江 信之

品川区と大田区を縦貫する旧東海道は、江戸時代諸大名や多くの旅人が往来した重要な街道であった。「大田・品川まちなみめぐりガイドの会」はこの2区を活動エリアとするため、一部会員から品川宿から川崎宿までを一気通貫でガイドする企画を立て、会のガイドメニューに加えるように、との提案が出されていた。

2014年5月13日定例会後、大田観光協会の小関さんから、旅人企画という旅行代理店が募集した江戸～京都間を踏破する「旧東海道ウォーキング」参加者に対してスポットガイドの依頼があるが、受けますかという話が出た。ただし実施日は4日後の17日(土)。早速先方に電話し依頼内容を確認し受諾の旨を伝えた。ガイドスポットは品川本陣跡、品川寺、六郷神社の3か所。此処で地元ガイドから江戸期の品川宿の様子、品川寺案内、六郷神社案内等を話して欲しいとのこと。ガイドは一気通貫ガイドの熱心な船木さん、鎌田さん、佐藤涉さんと堀江が担当した。スポットガイドは日頃の蘊蓄のおかげで問題なく実施できた。この年旅人企画からは計4回の依頼を受けた。ただし品川区内のガイドは品川区のガイド団体が引き受けることになり我々には六郷神社のみが残された。

旧街道のウォーキング熱はこの頃ブームになり翌2015年10回、16年には15回、17年は8回、18年は5回、19年3回、旅人企画から依頼があった。

一方大田・しながわ観光協会も旧東海道ウォーキングを実施するために、2015年ウォーキング用のMAPを制作することになった。ガイドの会にはMAPづくりに使用する写真等の素材を集めるよう求められたが、ガイドの会の会員が提出した旧東海道沿道の写真は残念ながら採用されず、今日見るイラスト中心のMAPが制作された。懸案のウォーキングの実施は翌年の3月に決定した。2016年2月12日と19日、大田観光協会小関、しながわ観光協会大嶋両氏を含むガイドの会会員延べ19名の方が、下見のため品川宿～川崎宿間を踏査して旧東海道ウォーキングガイドに備えた。16年3月27日品川の八つ山橋広場を起点に川崎宿交流館をゴールとする第1回の旧東海道ウォーキングが実施された。翌2017年は品川・川崎宿のガイド団体も参加して、川崎宿交流館～品川宿交流館のウォーキングとなったが、この一気通貫式のガイドは動員ガイドの割には、ウォーキング参加者が少なく2016年・2017年とも60名を越えず見直され、2018年以降は19・20年とスポットガイド方式で実施されている。

一方一気通貫方式でのガイドは、駿台大学の小林教授のゼミ生を対象に「江戸時代の旅を実体験する」ためのウォーキング学習を、2016・17・19年と実施していたが、20・21年はコロナ禍のため中断している。

(5) 池上七福神ガイド

藤井 政和

【池上七福神ガイドの経緯】

- ① (第1回)2011年大田・品川まちめぐりガイドの会が発足した翌年の2012年1月7日に大田観光協会からの依頼で「池上七福神めぐり」のガイドを行ったのが始まりです。
 - ・大田観光協会が参加者募集
 - ・当日の参加者28名を2班に分け、A班 3名、B班 4名でガイド
 - ・七福神各所で参加者が色紙押印
- ② 2013年(第2回)から2016年(第5回)まで引き続き同じ形態(大田観光協会主催、当会にガイド依頼)で行われた。

年	参加者数	ガイド人数(サブガイド)
2012	28	7
2013	42	12
2014	30	11(4)
2015	35	7
2016	17	7

- ・大田観光協会の参加募集(30名)に対し100名以上の応募があり、抽選で参加者が選ばれた。
- ③ 2017年度からはより多くの人々に池上七福神めぐりを楽しんでいただくために七福神設置寺院を含め池上駅前、本門寺総門前等の各所にコンシェルジュ(ガイド)を2、3名配置し、案内をするという形態が採用された。
また、大森鳶組合が演じるはしご乗りにも参加者を誘導してイベントの盛り上げりに協力した。

【最近の実績】

2021年の池上七福神めぐりとはしご乗りのイベントについては新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止となった。

なお、2021年から元々馬頭観音堂に安置され、近年は養源寺に恵比寿天と共に保管されていた大黒天が本光寺に安置されることになり、七福神めぐりのルートが変更になっている。
直近のイベントは2020年に開催されたものなのでその結果総括を添付する。

2020年池上七福神プロジェクト総括

1. 実施日:2020年1月13日(月) 9:30~15:30

2. 天候:晴

3. 実施体制

全体管理 藤井

- 池上駅前(湘南信金前) 9:30~14:30(古海、菱沼、芝崎)
- 本門寺総門前 9:45~15:30(宗、堀江、清崎)
- 七福神寺院ガイド 10:00~13:00(実質的には13:30~14:30に終了)
- 曹禅寺(伴野、佐藤紀)微妙庵(尾崎、大石)馬頭観音(藤井)
- 本成院(林、田ノ倉)巖定院(横田、深田)妙見堂(杉山、長谷川)
- 養源寺(井澤、野沢)

4. 今年の概況

- 今年好天に恵まれ穏やかな行楽日和となったため、今の2017年以降で最高の人出となり、前年と比べても概ね70%増しの来訪者があった。
- 来訪者の男女別比率は概ね【男43%、女57%】と女性の来訪者数が多いという結果であった。
- はしご乗りのイベントの開始時刻が例年に比べて1時間半後ろ倒しになったため、七福神めぐりの時間的余裕が生まれたのも来訪者増加の一因となったと考えられる。
- はしご乗りの時間帯が変わったことにより、総門前のブースへの来訪者の人波が15時を過ぎても減らず(はしご乗り終了後に来訪)その対応に追われた。
- 馬頭観音堂には大黒天が祀られていないので通過する旨、案内をしたが念のためオレンジベストを着用して待機したためか、2割程度の方が馬頭観音に寄って行かれた。
- この件については2種類のガイド地図があったため、混乱を招いたことも否めない。
- 全体としては大きなトラブルもなく無事イベントは終了したが、総門前の役務負担が大きく、担当する方々には食事時間も取れず、迷惑をかけた。…次年度は2部制として貼り付け人員を増やして対応することとしたい。

*各拠点来訪者総数(昨年度対比)

拠 点	2020年	対前年増減	2019年	対前年増減	2018年
1. 池上駅	418	159(161%)	259	—	250以上
2. 曹禅寺	430	184(175%)	246	54	192
3. 微妙庵	409	234(234%)	175	▲25	200
4. 馬頭観音堂	—	—	156	▲2	158
5. 本成院	542	230(174%)	312	30	282
6. 巖定院	385	154(167%)	231	14	217
7. 妙見堂	348	▲22(94%)	370	220	150
8. 養源寺	489	152(145%)	337	127	210
9. 総門前	917	399(177%)	518	—	120(くじ引き)

5. 各拠点の特記事項

* 各拠点の時間帯別来訪者数

5-1 池上駅前

- 今回の駅前ブースは駅前商店街に少し入った湘南信金前であったが、駅から本門寺に向かう動線から外れているため、駅前通路でパネルを提示して案内ブースへ誘導する必要があった。
- 駅前ブースに寄らずに直接案内地図を受け取っていく人は上記人数に含まれず、70~80名おられた模様。
- 池上駅のリニューアルが終了するまでは同様の対応が必要となるが、前年の城南信金前の方が少しは視認性が良いように思う。

5-2 曹禅寺

- 参拝者は地図を持参していたが、次のポイントへの道案内をするケースが多かった。
- TVの放映を見て参加したという人が2組いた。
- 「駅前での案内を含めて親切に案内していただきありがとうございます」というお褒めの言葉をいただいた。
- 10:00~13:00の間に5家族の法要が営まれた。
- 駅前ルートの反対からの参拝者が例年以上に多かった。
- お寺さんからペットボトルの飲み物をいただいた。
- 御朱印帳への記帳は行っていなかった。(すでに書いたものを渡していた。)

5-3 微妙庵

- もっぱら道案内に終始・・・来訪者の持参している地図が2種類あるので注意を要した。
- 女性の住職が一人で何もかも切り回していたので、色紙の販売も手伝った。
- 天気が良く例年より来場者が例年より多かったように思う。
- 撤収時刻の13:30まで途切れることなくお客様が来場した。

(6) 品川地区ガイド

任 田 寿 子

- 品川区内にも沢山の名所、歴史ある住宅地・商店街、美しい自然・水辺の景色があります。ツアー、ガイドを通して、特に大田区、品川区の人々にそれを知らせ、広め、楽しんでもらうことを目指してきました。
会発足当初、ツアーを作っても告知方法、集客方法が分からず、それが大きな壁でした。しながわ観光協会(親しみを込めてしな・観さん)さんの告知、集客のバックアップを得て、ツアー、コース作りに集中できます。
当初、新米で失敗もありましたが、良い経験となり今に活かしています。
品川区内、隣接する地域をよく歩き、10年間に40本余りの大小のツアーを実施してきました。参加費も1人@500円~3,000円と幅広く設定できるまでに成長しました。ツアーを通して、10年の軌跡を振り返ります。
- 初めてのツアー、ガイドは、平成24年(会発足の翌年)10月、「鬼平が歩いた品川宿」です。旧東海道や鬼平ゆかりの場所に寄りまつわる話をします。しな・観さんにこの企画を持ち込み、告知・集客・ツアー時のバックアップをお願いしました。
ツアーの内容について話を重ね、実踏、実地練習を4~5回し、会員に桜になってもらい本番練習をしました。参加者募集30名、参加費500円、午前・午後の2回ツアーです。応募は100名余りあり抽選で30名に絞りました。しかし、当日、参加者のキャンセルが5~6名あり、余分に採ることを学びました。
当時のイヤホンマイクは、2本の乾電池を入れるタイプで、本体も大きく重いし、イヤホンは耳にかけにくいものでした。しな・観さんのスタッフがその30数台を現場に運んで、ツアーのバックアップもされました。参加者へ渡す際、消毒、イヤホンの番号の記録、回収時に名前、番号をチェックし、再度消毒をします。昼食は15分くらいで済まし、直ぐに午後のツアーの準備に取り掛かり、ガイドをしました。秋晴れで、好評のうちに心地よくツアーを仕上げることができました。
- 翌年平成25年7月「大名屋敷跡・池田山」ツアー(パワースポット巡り)を実施しました。このツアーの企画は、しな・観さんに広報や募集のバックアップを強く働きかけ実施に至りました。五反田~池田山~雅叙園・結庵でワンドリンク付きです。しな・観さんは4,000円の参加費が妥当と提案されました。新米としては、20名募集で、1,500円にしましたが、安すぎたようです。応募が多数あり、急きょガイドを2名増やし、参加者40名、4班にしました。急きょ頼みましたガイドが途中で道に迷うハプニングもありました。

ツアー当日は7月初旬で、初夏、快晴、とても暑い日でした。熱中症対策として、40数人分の冷やし胡瓜、飴、保冷剤を用意しました。池田山公園で休憩時に配り、喜ばれました。雅叙園では専属ガイド(まちめの会の会員)の案内、説明で、百段階段、螺鈿細工が施された各部屋、披露宴会場を見学、結庵で喫茶し終了。しな・観さんの沢山のスタッフのバックアップで無事終了しました。反省として、7月、特に8月の夏はツアーを止めることになりました。

当時、羽田空港国際線ターミナルで200名超の参加者を1時間ガイドし、屋形船で遊覧し品川下船というツアーも実施しました。まだまだ新人でしたが総出でガイドしました。その後、ツアー、ガイドも数をこなし、落ち着き、ゆとりも出てきました。イヤホンマイクも新型のものを購入し、小型化、軽量化し、手入れや手間も少なくなりました。

- 女性や競馬初心者向けの「品川宿とナイター大井競馬場」というツアーを立ち上げました。旧東海道をガイドし、(途中居酒屋に寄ることもあり)大井競馬場内を見学します。場内は職員が馬券の買い方、関連施設の案内、説明をしてくれます。特別観覧室から実際の競馬を見ることができます。参加費は、1,500円～3,000円で、ツアーの内容により金額を設定します。1人では行きにくい感のある場所なので、男性も含め特に女性に好評です。
- 運河沿いの水辺の景色を楽しむツアーも立ち上げました。竜馬像・浜川砲台～しながわ花海道～中央海浜公園～東品川海上公園というコースです。運河沿いに遊歩道が整備されて、四季折々の花々を見ながら、海の景色も楽しめます。春は桜と菜の花、夏はヒマワリ、秋はコスモスが咲く並木道です。春から初夏にかけ、ジャコウアゲハも舞います。モルレールから見る海の景色も躍動感があり素晴らしいです。東品川海上公園には、至る所にミッフィーちゃんがいて、花壇にはミッフィーちゃんの花々が描かれています。また、ポンプ所の屋上庭園も広々とした素晴らしい庭です。色々な種類の、珍しい品種の花々が植えられ、咲き誇っています。
- まだまだ新しいツアーを立ち上げ、ガイドを続けていきます。

編集後記

企画部長 山田 さく

大田品川まちめぐりガイドの会が創立して丸十年を迎えるに当たり、何か記念事業を考てみてはどうかとの意見が、初代会長堀江さんから出されたのは、2020年10月例会でした。その時点では十周年記念日は、半年以上先のことで、何よりコロナ禍、見通しの立たない中で、会員のモチベーションは下がり気味でした。

積極的な賛成や、具体的なアイデアが出ないまま、何かしらの記念事業を実施した方が良いとの意見だけは、過半数をしめ、内容や進め方については、企画部が中心になって話し合うことになりました。

会を一から立ち上げた初期の会員と、すでにできあがった会に後から入会してきた会員の間には、会への想い入れに温度差があるのは仕方のないことです。それでも、この機会に過去10年分の記録を残すことは大切との考えは同じくすることができました。

幸い、企画部会員及び協力会員の積極的な資料提供に助けられ、すばらしい記録集ができました。

大田区品川区全域を案内できる優秀なガイドを多数そろえ、大田区品川区の観光に深く関わっている当会の活動実績は誇れるものです。

この記録は、先輩方がどのように新規事業を開拓し、実行してきたのかを知る貴重な資料となり、今後入会してくる会員にも役立つことでしょう。

またこの十年間の楽しかった思い出や苦かった失敗談などを思い出しながら、楽しく読み返してみてください。お世話になった皆様、ありがとうございました。